

支部戦略プラン（支部健康づくり戦略）策定に向けた意見聴取

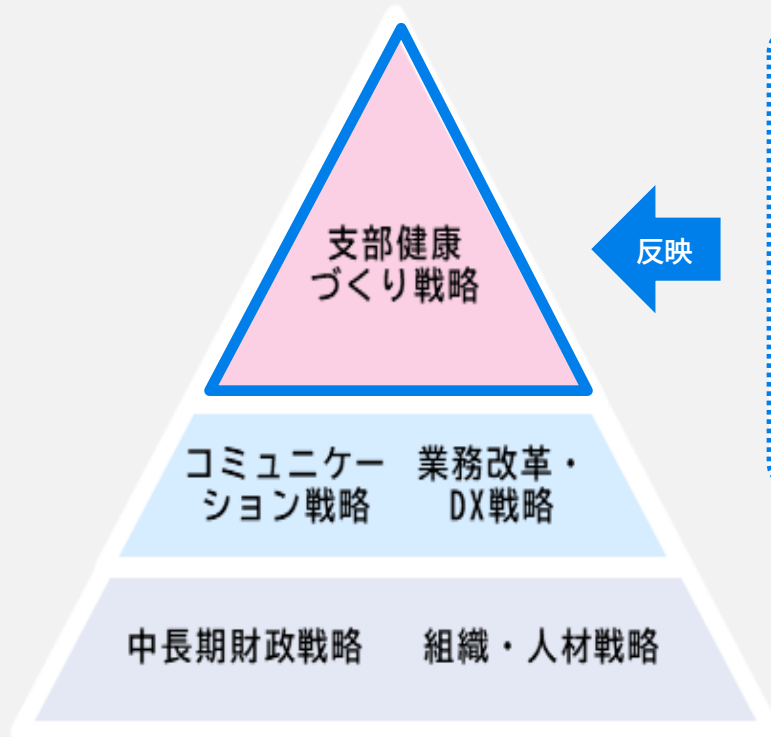


支部戦略プランについて

「**支部健康づくり戦略**」を基軸とし、これを支える「コミュニケーション戦略」・「業務改革・DX戦略」・「中長期財政戦略」・「組織・人材戦略」の5つの戦略から構成し、中期戦略プランをベースに、支部の地域特性や健康課題を反映させた3年間の中期計画。

支部戦略プラン

2027(R9)年度～2029(R11)年度



支部

・和歌山支部加入者の健康課題等

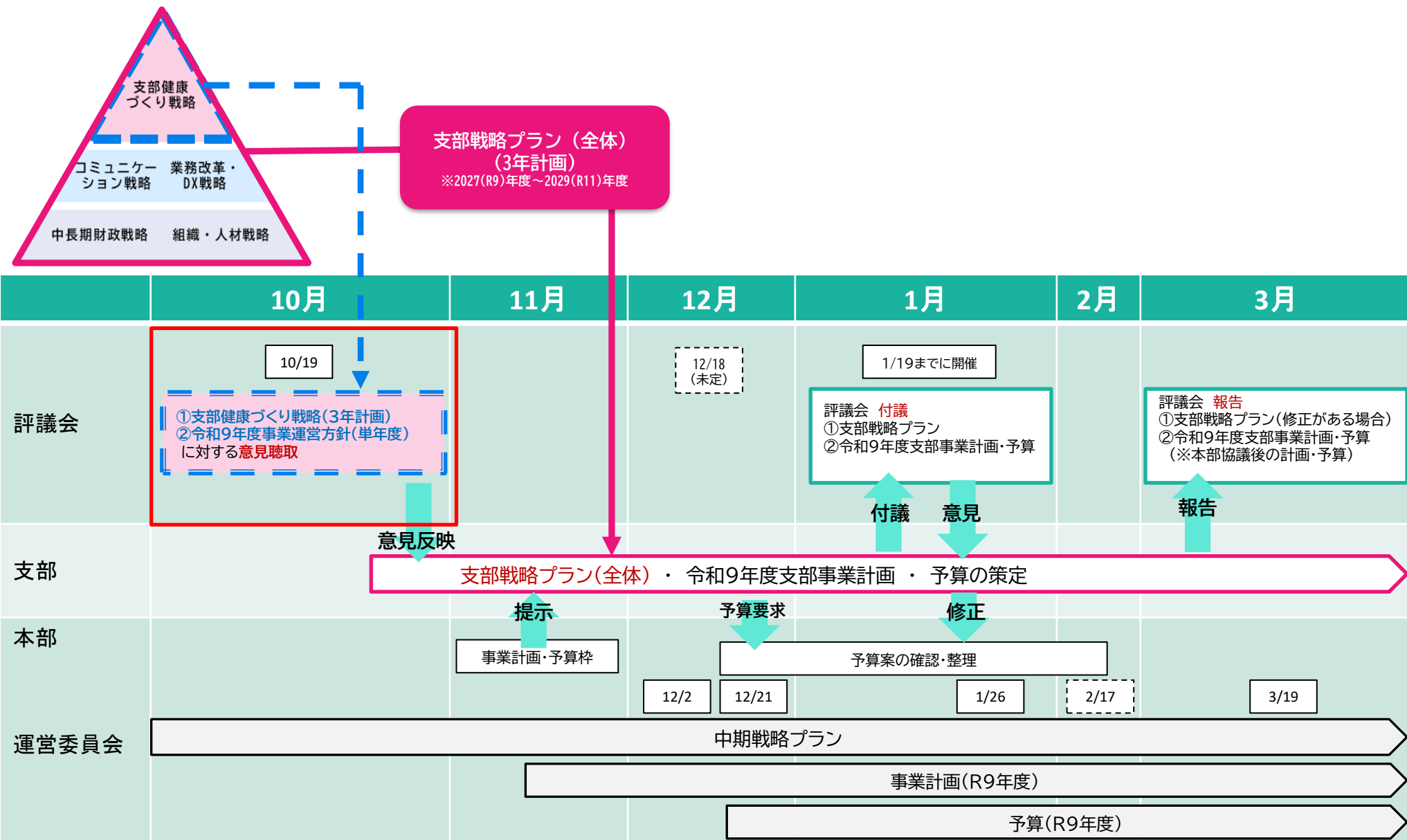
・第3期データヘルス計画

都道府県

・第四期 和歌山県医療費適正化計画(2024～2029年度までの6年間)

・第四次 和歌山県健康増進計画(2024～2035年度までの12年間)

支部戦略プラン・事業計画・予算策定のスケジュール



和歌山支部 課題シート

1	・ 一人あたり医療費が全国平均より高い。 ※腎不全、消化器系疾患による医療費(外来)が全国平均より高い傾向にある。
2	・ <u>メタボ及びメタボ予備群</u>の割合が全国平均より高い。 ・ <u>血圧リスク保有者</u>の割合が全国平均より高い。 ・ <u>喫煙習慣がある者(女性)</u>の割合が全国平均より高い。 ・ <u>運動習慣要改善者(女性)</u>の割合が全国平均より高い。
3	・ 全国に比べ、1機関あたりの一般健診実施件数が少なく特定保健指導対象者数が十分でないことから、特定保健指導初回面談を実施出来る健診機関が少ない。
4	・ 和歌山県最南端の<u>新宮市</u>においては、医師不足等の影響もあり、現在、<u>生活習慣病予防健診委託機関がなく、候補となる健診機関もない状況</u>である。また、扶養家族についても集団健診等の受け皿が少なく、他の地域と比べ、「健診を受ける機会」の提供が困難である。
5	・ <u>健康宣言事業所</u>における<u>特定保健指導の実施率が全国最下位</u>である。 ・ <u>大規模事業所の特定保健指導実施率が低い</u>。 ※被保険者100人以上の場合、和歌山支部は8.8%(令和6年度健診・保健指導カルテ)

和歌山県民の健康課題（全国との比較）



1日の野菜摂取量が少ない

男性 220.0g（全国47位）
女性 204.0g（全国47位）

令和6年国民健康・栄養調査

女性の歩数が少ない

男性 8,661歩（全国12位）
女性 6,337歩（全国44位）

令和6年国民健康・栄養調査

特定健診の受診率が低い （令和5年度）

52.1%（全国44位）

厚生労働省発表資料

がん検診受診率が目標に届かない

目標：70%

胃がん検診 47.5%（全国34位）
肺がん検診 46.5%（全国36位）
大腸がん検診 40.6%（全国40位）
子宮頸がん検診 38.7%（全国43位）
乳がん検診 39.5%（全国45位）

令和4年国民生活基礎調査報告

がんで死亡する人が多い

令和2年年齢調整死亡率(人口10万対)
男性 409.9（全国11位）
女性 196.1（全国17位）

人口動態統計特殊報告

心疾患で死亡する人が多い

令和2年年齢調整死亡率(人口10万対)
男性 219.8（全国2位）
女性 124.2（全国4位）

人口動態統計特殊報告

要介護認定率が高い

第1号被保険者に対する
要支援・要介護認定者の割合
21.9%（全国3位）

令和6年度介護保険事業状況報告（年報）

平均寿命が短い・男性 81.03 歳（全国35位）
・女性 87.36 歳（全国37位）

令和2年 都道府県別生命表

健康寿命が短い・男性 71.95 歳（全国41位）
・女性 75.30 歳（全国33位）

令和4年 厚生労働科学研究 健康寿命研究（日常生活に制限のない期間の平均）

最終更新日：2026.10.9

第四次 和歌山県健康増進計画概要

計画の趣旨

「健康増進法」第8条第1項の規定に基づき、各都道府県の住民の健康増進を図る（行政をはじめ関係団体、学校、職域、地域、家庭が一体となって、県民一人ひとりの主体的な健康づくりを推進）

計画期間

2024年度 から 2035年度 までの12年間

現状（主なもの）

【第三次和歌山県健康増進計画策定時の値と直近値】

➤ 健康寿命

男性 70.41年（2010）⇒ 72.39年（2019） 全国32位
女性 73.41年（2010）⇒ 75.33年（2019） 全国31位
※延伸しているが全国より短い

➤ 特定健康診査の実施率

34.8%（2010）⇒ 48.9%（2021） 全国45位
※増加しているが全国より低い、40歳代・50歳代が特に低い

➤ 生活習慣（食塩や野菜の摂取量、運動、喫煙）に関する指標

・食塩摂取量 10.5g（2011）⇒ 9.5g（2022）
・野菜摂取量 280.2g（2011）⇒ 252.3g（2022）
・1日の歩数
20～64歳 男性 7,441歩（2011）⇒ 7,690歩（2022）
女性 7,819歩（2011）⇒ 6,771歩（2022）
65歳以上 男性 6,407歩（2011）⇒ 6,035歩（2022）
女性 5,910歩（2011）⇒ 5,557歩（2022）
・喫煙率 男性 29.0%（2011）⇒ 23.7%（2022）
女性 5.1%（2011）⇒ 6.4%（2022）

※悪化、もしくは、横ばい

全体目標

「全ての県民が健やかで心豊かに生活できる持続可能な社会の実現」

【数値目標（主なもの）】

	2022年（現状）	2035年（目標）
健康寿命の延伸	男性 72.39年 女性 75.33年 (2019年)	男性 75年 女性 78年
特定健康診査実施率 (40歳から74歳まで)	48.9% (2021年)	70%以上
食塩摂取量（20歳以上）	9.5g	7g
野菜摂取量（20歳以上）	252.3g	350g
1日の歩数の平均 (20歳～64歳)	20歳～64歳 男性7,690歩 女性6,771歩 65歳以上 男性6,035歩 女性5,557歩	20歳～64歳 8,000歩 65歳以上 6,000歩
喫煙率の減少	男性 23.7% 女性 6.4%	男性 18.9% 女性 3.5%

施策の方向性（主なもの）

➤ 個人の行動と健康状態の改善

生活習慣の改善、生活習慣病の発症予防及び重症化予防に関する取組

➤ 社会環境の質の向上

就労、ボランティア、通いの場等の居場所づくりや社会参加の取組、こころの健康を守るための環境整備

➤ ライフコースアプローチを踏まえた健康づくり

乳幼児期、青壮年期、高齢期等における特有の健康づくりに関する取組

和歌山支部健康づくり戦略

I）戦略目標

健診、特定保健指導、重症化予防、コラボヘルス及びヘルスリテラシーの向上等を通じ、加入者の健康の保持・増進を図るとともに、加入者が良質かつ効率的な医療を享受できるよう取組を進めることにより、**健康寿命の延伸を推進し**、協会の理念である**加入者・事業主の利益の実現**を図ります。

II）3年間の戦略の概要

2026（令和8）年の健康保険法改正により、協会の責務として、加入者の年齢・性別・健康状態等の特性に応じたきめ細かい予防・健康づくりを適切かつ有効に実施することが明確化されたことを踏まえ、加入者の健康の保持・増進に向けて、第3期保健事業実施計画（データヘルス計画）に基づき、協会が保有する医療や健診、給付等のデータ分析を進め、地域・職域の健康課題の解消に向けた取組を進めます。併せて、2024（令和6）年3月に**和歌山県が策定した「第四次和歌山県健康増進計画」**においては、「全ての県民が穏やかで心豊かに生活できる持続可能な社会の実現」を目指すべき姿と位置づけ、**健康寿命の延伸や様々な健康課題の改善を目標**としていることから、**当支部においても**その実現に向けて、関係機関・団体との連携を強化し、**地域・職域が一体となった健康づくり**を推進します。

特に、けんぽアプリを加入者及び事業主等へ利用を促すことで、協会から働きかける「PUSH型」の支援（一人ひとりの状況に寄り添い、より個人に合わせたサービスを届けることで、加入者の行動変容を促すもの）を拡充するとともに、健康経営の推進を図り、加入者・事業主双方への働きかけを強化することで、健康づくりを総合的に推進します。

また、保健事業の基盤となる健診・特定保健指導の実施、重症化予防に積極的に取り組みます。特に、和歌山支部の課題である高血圧や脂質異常症の予防対策として、第3期保健事業実施計画（データヘルス計画）及び「健康日本21」（第3次）を踏まえたポピュレーションアプローチを積極的かつ効果的に実施することで、事業主や加入者等の意識啓発を図るとともに、職場での健康づくりを推進します。

さらに、加入者が良質かつ効率的な医療を享受できるよう、和歌山県における地域医療構想や医師確保計画、医療費適正化計画等の実現に向けた取組を推進します。

Ⅲ）３年間の主な取組

《健康の保持・増進》

〔個人の特性に応じた支援〕

デジタル技術や協会が保有する医療や健診、給付等のデータを活用し、加入者の年齢・性別・健康状態及び地域の特性等に応じた適時適切な支援を拡充します。特に、けんぽアプリを中心とした事業主や加入者等と直接つながる環境を活用し、健診案内や予約、受診後のフォローアップ等を実施するとともに、大規模事業所や遠隔地等における保健指導等を効果的かつ効率的に実施します。

〔健康経営の推進〕

事業所が健康経営を実践するため、事業所内で健康経営を経営方針として主導し、健康づくりに関するキーパーソンとなる事業主等への働きかけを一層推進するとともに、多くの事業所が自ら従業員等の健康づくりを進め、事業所全体の健康意識を醸成することを目指し、保健師及び管理栄養士等による事業所訪問を含め、各種取組を実施します。

〔健診の拡充〕

2026（令和8）年度から開始した被保険者に対する若年者への健診や人間ドック健診、2027（令和9）年度から開始する被扶養者に対する健診拡充等における利用状況等を把握し、利用の定着に向けた取組を進め、実施率の向上を図ります。また、健診機関レポートを活用し、健診の質や精度管理等の向上に向けてサポートすることで、健診の質・数ともに底上げし、加入者及び地域住民の健康増進に努めます。

Ⅲ）３年間の主な取組

《健康の保持・増進》

〔特定保健指導の量・質の向上〕

2026（令和8）年度から人間ドック健診での特定保健指導の実施を必須化したことや、2027（令和9）年度からの被扶養者への健診拡充等に併せて、健診当日の特定保健指導利用機会の拡大等の取組を進め、実施率の向上を図るとともに、**大規模事業所における巡回健診等の受診者に対する特定保健指導利用案内率を向上**させることで、特定保健指導の未実施者に対する健康づくり支援を進めます。また、特定保健指導の質の向上を図るべく、効果的で確実な保健師及び管理栄養士の育成に取り組むとともに、安定的な人材確保に努めます。

〔重症化予防の拡充〕

健診当日の受診勧奨（〇次勧奨）を実施する健診機関を拡充し、健診機関を主体とした加入者及び地域住民の早期予防を推進します。また、**和歌山支部の課題である高血圧及び脂質異常症の予防対策**として、「健康日本21」（第3次）における**「野菜摂取量の増加」及び「運動習慣者の増加」を踏まえたポピュレーションアプローチを積極的かつ効果的に実施**することで、事業主や加入者等の意識啓発を図ります。さらに、2027（令和9）年度からは胃がん・大腸がん、乳がん、子宮頸がん検診の結果に基づく受診勧奨も実施します。

〔ヘルスリテラシーの向上〕

協会が保有する医療や健診、給付等のデータ分析を進め、事業所に対するメンタルヘルス対策や女性の健康問題に対するポピュレーションアプローチ、**栄養・食生活・運動・喫煙等の生活習慣改善の対策**等、地域・職域の特性を踏まえた対応を行うことで、加入者のヘルスリテラシーの向上を図ります。

Ⅲ）３年間の主な取組

《良質かつ効率的な医療の推進》

[医療提供体制の確保・充実に向けた取組]

和歌山県における地域医療構想や医師確保計画等の策定や取組の推進に積極的に参画します。地域の現状や課題を把握し、病床機能の分化や医療機関機能に着目した医療機関の連携・再編・集約化、医療・介護連携の推進、医師偏在の是正等に向けた意見発信を行い、地域における効果的・効率的な医療提供体制の構築に向けて保険者に期待される役割を果たしていきます。

[医療費の適正化]

加入者が質の高い医療を将来にわたり持続可能な形で受けることができるよう、協会が保有する医療や健診、給付等のデータ分析を進め、医療費の適正化に資する取組を進めます。バイオ後続品（バイオシミラー）については、データ分析に基づく医療機関への働きかけを通じて使用促進を図ります。また、地域フォーミュラリの導入・運用に向けて、データ分析や他地域の取組状況に関する情報提供等、地域の医療関係者と連携を図ります。さらに、OTC類似薬の薬剤自己負担の見直しを踏まえ、セルフメディケーションの推進に努めます。